

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	簡易水道事業特別会計	031	款	01	項	01	目	01
事務事業名	簡易水道維持管理事業(仙北地域)								
担当部署	仙北支所農林建設課	4702000	電話	0187-63-3003			内線	231	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	04:生活の基盤が整ったまちづくり
	施策の大綱	04:上水道の整備
	施策	03:浄水施設の整備
	施策の内容	02:施設管理の効率化
根拠法令等	水道法、大仙市簡易水道事業の設置に関する条例、大仙市簡易水道事業給水条例	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	戸地谷簡易水道施設の適切な維持管理を行い、安全で安心な水道水を安定的に提供する。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	戸地谷地区の住民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①簡易水道施設の維持管理業務 ②水質管理業務 ③水道料金の賦課徴収業務
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	安全で安心な水道水を安定的に提供することにより、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 水質検査	回	12	12	12
	② 給水設備工事の受付	件	0	10	69
	③ 簡易水道事業加入廃止の受付	件	0	10	69
成果 (事業の成果を測る)	① 給水人口	人	202	202	479
	② 給水世帯	世帯	74	74	185
	③				
投入コスト	決算額		1,433千円	1,908千円	3,876千円
		一般財源	0千円	0千円	0千円
	人件費		4,282千円	4,228千円	4,279千円
		一般職員の年間従事人数	0.6人	0.6人	0.6人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト	(決算額+人件費)	5,715千円	6,136千円	8,155千円

事業を取り巻く環境	<p>①戸地谷地区統合簡易水道事業により、平成22年4月から一部供用を開始し、同年12月からは戸地谷地区全域への給水を開始している。旧川前簡易水道で使用していた施設は、新浄水場敷地内の消雪用取水地として12月に接続工事が完了し既存の建物も含め活用している。</p> <p>②水道料金については、各地域により異なっていたが、経営の健全化を目指し、平成22年7月から統一した。</p> <p>③平成23年10月1日より雇用促進住宅も戸地谷地区簡易水道に加入している。</p>
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	安全で安心な水の安定供給は、地方自治体の責務である。今後も適切な維持管理に努める必要がある。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	適切な維持管理により、安全で安心な水の安定供給を図っている。加入者も増えてきている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	B
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	平成22年度で戸地谷地区の事業は完了した。今後は運営面でいかに効率よく、かつ安全に進めていくかが課題となる。その上で民間委託も選択肢にいれておくことも必要と考える。 下水道と連携することも可能であり、一部実践している部分もある。 人件費、コストに関しては新しい簡易水道で加入率も今後伸びてくるため、削減するのは難しい。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	改善策	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	A 現状のまま継続	料金体系の改正は平成22年7月から既の実施できており、料金収入が増えることによって収支のバランスがとれると考える。 平成22年度より供用開始した戸地谷地区簡易水道は、今後加入率を上げるために加入促進に努める。 安心、安全な水を恒久的に供給するための施設メンテナンスが今後の課題である。 仙北東地区については関係地域のアンケート調査、説明会開催及び住民の同意などを今後進めていく。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	
	F 終了	